

日南市公共施設等総合管理計画

(個別施設計画)

幼保・こども園編

令和2年3月

こども課

1. 対象施設

平成29年度末現在、幼保・こども園施設は3施設で、延床面積の合計は1,924.00㎡となっております。

No.	施設名	所在地	総床面積 (㎡)	棟数
1	北郷さくらこども園(北郷保育所)	日南市北郷町郷之原甲50	1,341.00	1
2	宮浦保育所	日南市大字宮浦696	220.00	1
3	大堂津保育所	日南市大堂津三丁目10-24	363.00	1
合計			1,924.00	3

2. 計画期間

令和2年(2020年)度から令和8年(2026年)度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえて、適宜、計画を見直すものとします。

3. 対策の優先順位の考え方

(1) 施設の役割

児童福祉法に基づき、日々保護者の委託を受け、保育を必要とする乳児又は幼児を保育し、心身ともに健やかに育成することを目的として設置された施設です。

(2) 現状と課題

宮浦保育所、大堂津保育所は、建築後30年以上が経過しています。大堂津保育所については、平成28年度に保育室の床面補修と屋根の防水補修を行いました。

北郷保育所は建築後9年で、建物の目立った不具合は発生していません。

利用状況について、北郷保育所は、利用者数が減少傾向にあり、充足率は平成29年度で68.4%となっております。宮浦保育所はほぼ横ばいで、充足率は平成29年度で33.3%、大堂津保育所もほぼ横ばいで、充足率は平成29年度で46.7%となっております。

保育所民営化事業においては、大堂津保育所は民営化の検討を行うこととし、宮浦保育所は今後の利用見込みや地域性を考慮し、施設のあり方の検討を行うこととしています。

(3) 今後の施設の考え方

北郷保育所については、利用者は減少傾向にあるものの、北郷地区の教育・保育拠点施設であるため継続して配置し、計画的な維持管理を実施し、長寿命化を図ります。

大堂津保育所については、民営化に向けての検討を行っていきます。

宮浦保育所については、施設の長寿命化を図りながら、施設のあり方の検討を行っていきます。

4. 施設の状況等

(1) 施設性能

No.	施設名	建築年度	経過年数	構造	耐用年数	残寿命年数 (年)	耐震		大規模改修	
							診断	改修	年度	改修
1	北郷さくらこども園(北郷保育所)	H20年度	9	W	22	13	新	新		
2	宮浦保育所	S60年度	32	RC	47	15	新	新		
3	大堂津保育所	S57年度	35	RC	47	12	新	新		

(注1)平成29年度末現在の状況について記載

(注2)複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造:W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数:耐用年数-経過年数〔基準年度-建築年度〕

※耐震診断:新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であるが耐震診断実施済み、

未=旧耐震基準で耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修:新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断未実施又は耐震改修が必要だが未実施

不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

※大規模改修:屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

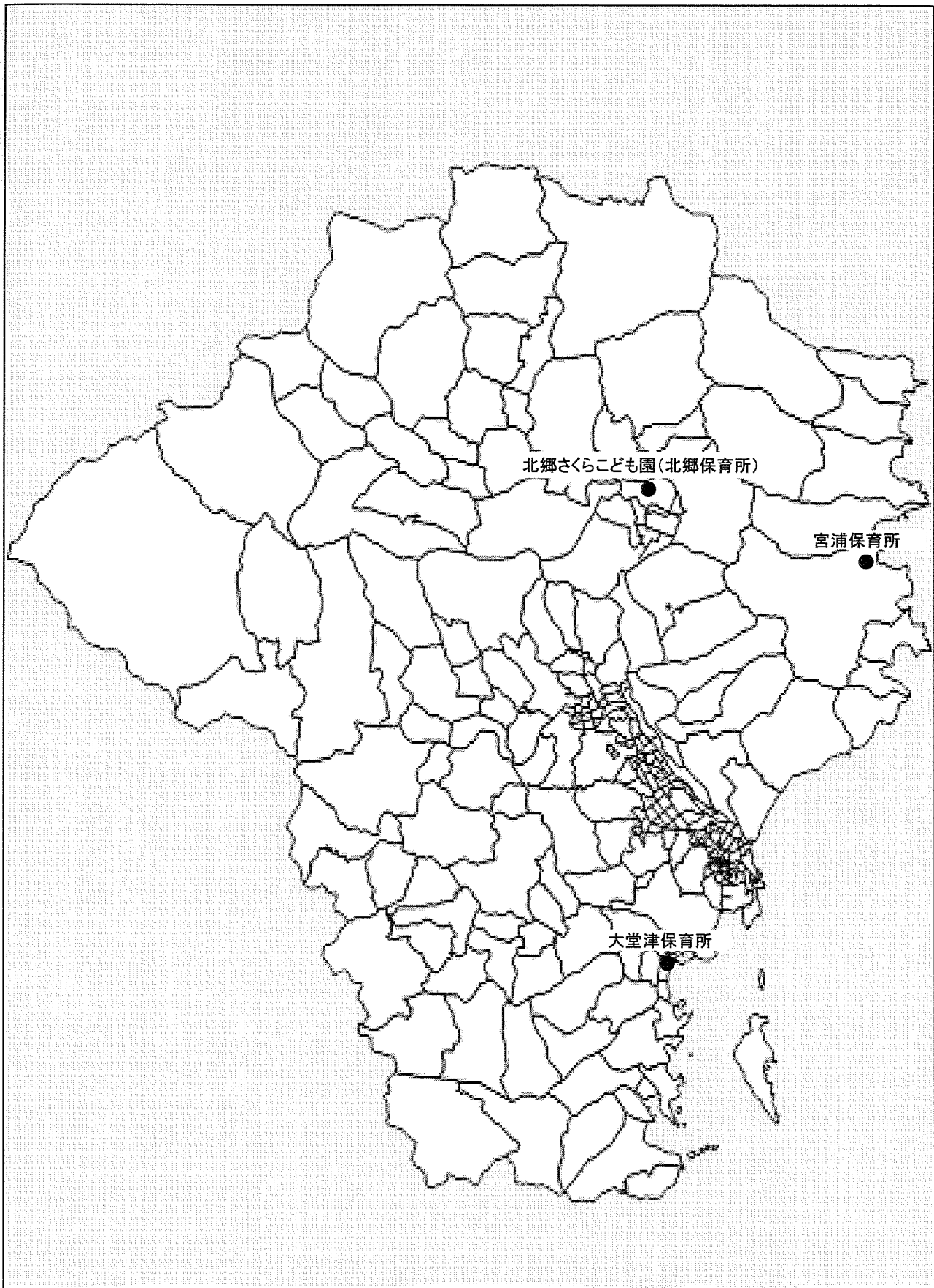
(2) 利用・運営状況

No.	施設名	総床面積 (㎡)	稼働日数 (日)	利用者数 (人)	年間コスト (円)	㎡当たりコスト (円)	1人当たりコスト (円)
1	北郷さくらこども園(北郷保育所)	1,341.00	294	101	122,452,315	91,314	1,212,399
2	宮浦保育所	220.00	294	11	27,725,539	126,025	2,520,504
3	大堂津保育所	363.00	294	18	36,174,278	99,654	2,009,682

(注1)稼働日数、利用者数、年間コストは、過去3年間(H27~29年度)の平均を記載

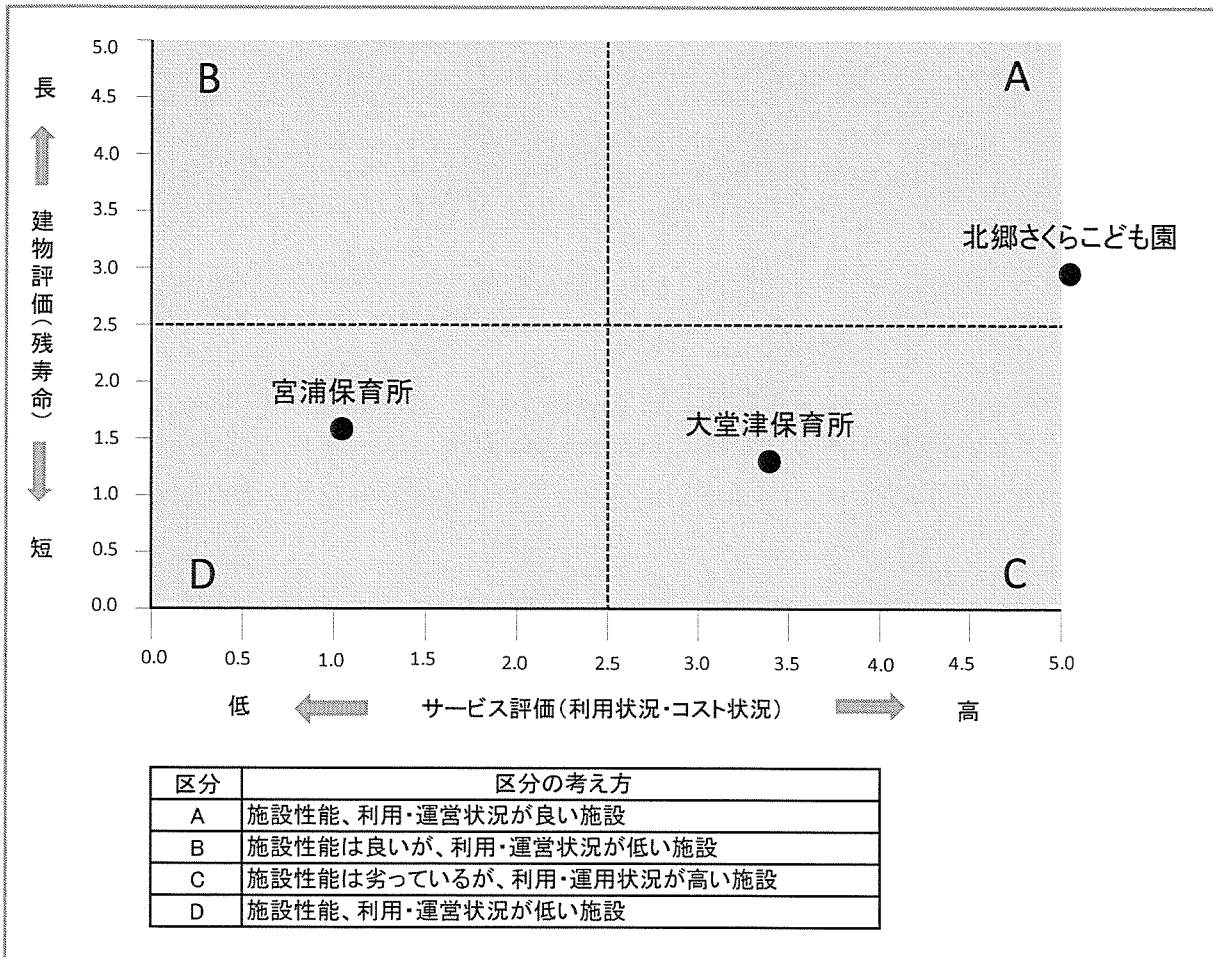
(注2)利用者数は、年度末時点の在籍者数の3年間平均値

5. 施設配置状況



6. ポジショニング分析(施設評価)結果

各施設の施設性能(ハード面)と利用・運営状況(ソフト面)の重要な2つの指標について、数値化し、施設の特徴や傾向を4つの区分(A、B、C、D)に分けて表したものです。



【施設評価の考え方】

縦軸: 建物評価の点数

○残寿命年数

施設の残寿命年数を計算し、建物の評価点を出す(5段階評価で5点満点)。マイナス評価の場合は、0点とする。

〈計算式〉

耐用年数 - (基準年度(2017年度) - 建築年度) = 残寿命年数

(残寿命年数 / 耐用年数) × 5点 = 残寿命年数の点数

例)平成4年度(1992年度)建築された、鉄筋コンクリートの庁舎の場合

50(耐用年数) - (2017 - 1992) = 25 25(残寿命年数) / 50(耐用年数) × 5点 = 2.5点(残寿命年数の点数)

横軸: サービス評価の点数

○㎡当たりのコスト

㎡当たりコストが最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分する。不明の場合は0点とする。

○1人当たりのコスト

1人当たりコストが最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分する。不明の場合は0点とする。

サービス評価の点数 = (㎡当たりコストの点数 + 1日当たりの利用者数の点数) × 1/2

※過去3年間(H27~29年度)の平均により算定。

7. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりです。

(1) 今後の方針

No.	施設名	方針
1	北郷さくらこども園 (北郷保育所)	継続して利用する。
2	宮浦保育所	継続して利用し、今後の利用見込みや地域性を考慮し、施設のあり方を検討していく。
3	大堂津保育所	民営化に向けての検討を行う。

(2) 計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位:百万円)

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間							
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
1	北郷さくらこども園 (北郷保育所)	認定こども園	対策内容								
			対策費用								
2	宮浦保育所	保育室	対策内容								
			対策費用								
3	大堂津保育所	保育室	対策内容								
			対策費用								
合計											